

第三十七回帝國議會
衆議院

簡易生命保險法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正五年二月十日午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

小河	源一君	齋藤	隆夫君	淺野	陽吉君
平山	午介君	黑須	龍太郎君	鈴置	倉次郎君
加藤	小太郎君	本田	恆之君	大橋	松二郎君
山田	珠一君	清水	隆徳君	藤井	善助君
前川	虎造君	板東	勘五郎君	吉植	庄一郎君
堀切	善兵衛君	高橋	光威君	田邊	熊一君
西谷	金藏君	成田	榮信君	横山	寅一郎君
西田	庄助君	加藤	彰廉君	三木	與吉郎君
高野	金重君	川崎	克君		

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 箕浦 勝人君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官	高橋	作衛君	法制局參事官	松本	丞治君
法制局參事官	馬場	鏌一君	農商務省商工局長	岡	實君
逓信省參政官	木下謙次郎君	逓信省副參政官	荒川	五郎君	
爲替貯金局長	肥後 八次君	爲替貯金局事務官	日吉	平吉君	

簡易生命保險法案

○委員長(小河源一君) 開會ヲ致シマス、逓信大臣ハ 陛下ノ御迎ニ出テ居ルノテ

少シ時刻ガ遅レマス、併ナガラ濟ミ次第早速此方ヘ出ラレル答デアリマス、ソレマデニ政

府委員ハ出テ居ラレマスカラ、政府委員ニ質問サレテ濟ム事ガアラウト思ヒマスカラ、其

方カラ質問ヲ求メマス

○成田榮信君 政府委員ニチヨット注意シタイ事ガアリマスカラ、議事ニ入ル前ニ……

○委員長(小河源一君) 成田榮信君

○成田榮信君 先日ノ本會議ニ於キマシテ政府ノ答辯スルトコロハ、頗ル本案ニ對シ
テノ忠實ノ心ヲ失テ居ッタウデアリマスガ、本案ハ本期議會ニ於ケル最も重大ナル案デ
アリマシテ、此結果ガ社會ニ非常ナル影響アリ、尙且ツ當業者ノ利害休戚ニ關スル大
問題デゴザイマス、故ニ政府委員ハ此委員會ニ於テハ、十分ニ誠意アルトコロノ答辯ヲ
シテ戴キタイと思ヒマス、動モスルト政府委員ハ誠ニ皮相ナル薄ッベラナトコロノ答辯ヲ致
サレマシテ、吾々ガ本案ノ可否ヲ決スル上ニ於テノ中心ニ觸レルトコロノ答辯ヲ致シテ居
ラヌ、吾々ハ頗ル之ヲ遺憾トシテ居ルノデ本會ニ於キマシテハ極ク誠意アルトコロノ答辯
ヲシテ戴キタイト云フコトヲ、會議ニ入ル前ニ於キマシテ前提トシテ申上ゲテ置キマス

○吉植庄一郎君 私ハ質問ノ通告ヲ致シテ置キマシタガ、細カナ質問ニ入ル前ニ先ヅ
大體政府ノ所見ヲ伺ッテ見タイと思フデアリマス、決シテ政府委員ノ方カラ聽クコトヲ
不満足トスルト云フヤウナ考ハ有ッテ居リマセヌガ、現内閣ノ政策ノ一トシテ今期議會ニ
提案サレタモノノ中ノ、先ヅ重要ナル意味ヲ有ッテ居ル本案ト思ヒマスカラ、過日本會
議ニ於テ大臣ノ御説明モチヨット伺ヒマシタガ、相成ルベクハ當局大臣ヨリ本案提出ノ理
由ニ付テ詳細ナル御説明ガアルナラバ、ソレヲ聽イテ然ル後ニ質問致シタイト考ヘマス、
此簡易生命保險ノ事業概要、諸統計表等ヲ昨夕配付サレタ位デ、吾々詳細ニ是等
ヲ見ル時間モナイコトデアリマスシ、政府ノ説明モ今日マデ之ニ付テ十分ノ説明ヲ承ッ
居リマセヌ、先以テ政府ノ説明ヲ十分ニ拜聽シタ上デ質問シタイと思フ、若シ他ノ委員
諸君ニ於テ此必要ガ無イト云フナラバ、直ニ質問ナサルモ宜イガ、私ハ大臣ノ出席マデ
質問ヲ保留シテ置キマス

○淺野陽吉君 私ハ質問シマス、大臣ノ出席ヲ待タヌ

○委員長(小河源一君) 淺野君

○淺野陽吉君 此席ニハ私ノ他ニモ民業ニ關係ノアル御方ガアルヤウデアリマスガ、私
モ亦其一人デアリマス、從ッテ問ハント欲スル所ハ大分多ウゴザイマス、而シテ私ノ問ハ
ント欲スル所ハ即チ民間業者ガ一般ニ問ハントスル所デアアル、加之天下ノ疑問トシテ居
ル所ト考ヘマスカラ、十分ノ御説明ヲ請ヒタイと思ヒマス、尙質問ヲ始メマスル前ニ一ツ御
斷リ致シテ置キタイ事ハ暫ク問答ヲ續ケサセデ戴キタイ、此一點ハ委員長ニ於テ御領承
ヲ請ヒマス、過般本會議ニ本問題ヲ御提出ノ際、箕浦逓信相ハ提出ニ關スル大體ノ主
意ハ既ニ御説明ガアリマシタカラ、私ハ此席ニ於テ政府側ヨリ更ニ説明ヲ要セズシテ直
ニ質問ニ入ラウト思ヒマス、本案ノ骨子ハ是ハ實質ニ於テ又其運用ノ關係ニ於テ、社
會政策デアルト云フコトガ政府ノ宣言デアリ、是ガ此案ノ生命デアルト思ヒマス、若シ此
ノ實質及其運用ノ結果ニ於テ、社會政策タル實效ヲ失フト云フコトニナリマスレバ、則チ
是レ羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ售ルト云フ案ニ陥ルデアリマス、此案ノ贊成者モ必ズ失望セ
ラルコトト考ヘマス、ソレデ第一ノ根本ノ疑問ハ、果シテ本案ハ社會政策ニ適應スルヤ
否ヤト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、之ヲ先ヅ突留メテ置キタイ、是ガ社會政策タルコ
トヲ得ルト云フコトハ逓相本議ニ於テ説明セラレタ如ク、民設會社ノ手ノ居カザル所ノ
モノヲ經營スルデアルト云フコトニ當ラナケレバナラヌ、即チ上流中流ノ者ヲ——明確
ニ言ヘバ下層細民、及財産ノ點カラ言ヘバ貧民、職業ノ點ヨリ言ヘバ勞働者、是等ノ
者ニ本案ガ普及シナケレバ社會政策ノ實效ヲ失フモノデアアル、是ハ申ス迄モナイ、其故ニ
本案實行ノ曉其政策ヲ施行セラレタ所ガ、契約者ノ大部分ガ貧民細民下級者ハ勞働
者ノ範圍ニ止ラスシテ、反對ニ契約者ノ大部分ガ今ノ既設會社ガ居ル範圍、即チ
中流以下層細民ニ及バザル程度ニ於テ契約ガ大部分出來マスレバ是ハ社會政策ニ
アラズト云フ斯ウ云フコトニナツデシマフ、私共ガ多年ノ經驗上日本ニ於ケル保險思想ハ
非常ニ低イモノデアルト考ヘル、薄イモノデアアル、保險ノ必要ヲ自覺シテ而シテ吾自カラ

自動のニ生命保險ニ加入シ、參加セラル、人ハ實ハ誠ニ少數ノ部分デアアル、大部分ハ口ヲ酸バクシテ勸誘シテ初メテ入ル人ニテアルト云フコトハ實際上明ラカナコトデアアル、ツレハ中流以上ノ知識アル人ニシテ然リデアリマス、況ヤ下層細民即チ政府ノ所謂下級者ノ範圍ニ於テハ、保險ノ思想ノ薄キコト實ニ紙ノ如クデアラウト思フ、加之幾ド保險ノ必要ヲ感ゼザル人ガ多イ思ヒマス、本案實行ノ曉ニハ私ハ思フ、其結果ハ必ズ中流以上若クハ少クモ今ノ民設會社ガ顧客トシテ居ル範圍ニ於テ、此契約ヲ得ラルモノデ、而シテ下層細民ニ得ルコトハ甚ダ少カラウト私ハ思フ、總テ本案ハ社會政策ノ名ニ於テ得テ實ニ於テ亡ビルト私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、是ガ根本ノ果シテ社會政策トシテ實効ヲ舉ゲ得ルヤ否ヤ、其點ニ於ケル政府ノ御見込ヲ承リタイ、果シテ其理想ノ如キ實効ヲ舉ゲ得ラル、自信ヲ持ッテ居ラレカ

○政府委員(肥後八次君) 理想ノ通り實行シ得ルモノト信ジテ居リマス

○淺野陽吉君 理想ノ通り實行シ得ラル、ト仰セラル、ニ付テハ、社會ノ實狀及此經營ノ方法ニ就テ斯クノナルガ故ニ、此ノ如キ成績ヲ舉ゲ得ルト云フ根本ノ御考ガアルデアラウ、私共多年ノ經驗ニ依ルニ下層社會ノ貧民細民ノ範圍ニ、此保險ヲ附セシムルト云フコトハ至難ノ事業デ、強制保險ニアラザレバムツカシイト解釋シテ居ル、然ルニ本案ハ強制保險ニアラズシテ中半端ナモノデアリマス、實績ニ於テ社會政策タルコトヲ得ル甚ダ難イト、斯ウ考ヘテ居ル

○政府委員(肥後八次君) 全國ニ此七千有餘ノ郵便局ヲ有ッテ居リマシテ、是ガ至ル所ニ普及シテ居ルノデアリマス、此機關ヲ利用シマシテ保險思想ヲ十分ニ普及シ、且ツ社會ニ擴メマシテ理想通り實行ハ出來ルト信ジテ居リマス

○淺野陽吉君 多分其根本ノ疑問ニ對スル御答辯ハ、其位ナ薄弱ナルモノデアラウト私モ想像シテ居リマシタ——ツレハ先日來私ノ研究シテ政府ノ意圖ヲ窺フニ、保險思想ノマダ低イ日本ニ於テ且ツ最も保險ノ必要ヲ自覺セザル下層社會ニ於テ、之ヲ得ルト云フコトハ非常ニ難イ、ツレニ向ッテ政府ハ如何ナル考ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ窺ヒ、窺ガッテ居リマシタガ、果シテ十分ナル御考案ガ無イモノト思ヒマス、其結果デゴザイマセウ、政府ハ斯様ナコトヲ宣言シテ居ラレル、本案ノ實行ガ社會政策タリト云フ御説明ヲナサラヌ前ニ、此本案ノ實行ノ曉ニ於テ集メタル資金及剩シタル資金ヲ社會政策ノ運用スルガ故ニ、是ハ社會政策ナリ、斯様ナ御説明ヲナサレテ居ルト云フコトヲ私ハ承ッテ居ル、本案實行ノ曉集メタル資金及剩シタル資金ヲ社會政策ノ運用スルガ故ニ、本案ハ社會政策ナリ、斯ウ云フ説明ヲ與ヘラレ、是ガ根本性質ニ缺クル所ガアルカラ實質其モノガ社會政策ノ實效ヲ舉ゲ得ルト云フ直接ノモノニアラズシテ、間接資金運用ノ點カラ社會政策ノ實ヲ舉ゲルモノナリ、斯ウ云フ工合ニ廻リクドイ説明ヲナサレテ居ル、若シ政府ガ集メ得タル資金及剩シタル資金ノ運用ガ、社會政策タル方法ヲ採ツタモノナリ、社會政策ナリト云フナラバ、單リ此ノ如キ廻リクドイ困難ナル案ヲ以テ社會政策トナスヨリハ、寧ロ二越ノ如キ金持ノ贅澤ナル者カラ集メ來タタ資金ヲ運用シテ、之ヲ社會政策ノ二使フノガ最も簡易ナル方法デアアル「デパートメントストア」官營ニシテ宜イト思フ、ツレガ實際デアアル、剩マレル人ノ懷ロカラ出シタ資金ヲ之ヲ社會改良、社會政策ニ使フノガ最も社會政策ノ本旨ニ副フデアリマス、是ハ政府ガ説明スル所ノ社會政

策ノ實ヲ舉ゲルト云フ御説明ハ、本案ノ結果ヨリ來ル副產物ノ效果デアッテ、主體ヨリ來ル結果デナイト思ヒマスガ如何デゴザイマス

○政府委員(法學博士松本恭治君) 私カラ社會政策ト云フヤウナコトニ付テ大體御答シタイト思ヒマス、唯今ノ御質問ハ甚ダ御尤ニ聽エマスガ、吾々ノ見ル所ニ依ルト所謂下層社會、此簡易保險ノ目的トナルベキ被保險者ノ範圍ハ全ク無教育ノ人間バカリデハナイト考ヘル、吾々ノ見ル所デハ殊ニ日本ノ現狀ニ於テ、所謂知識アル下層社會ト云フモノガ非常ニ多イデアアル、即チ極メテ小額ナル俸給ヲ受ケテ、官廳或ハ公署其他會社等ニ職ヲ奉ジテ居ルヤウナモノガ非常ニ多イ、是等ハ知識ノ點カラ申セバ、或程度マデ財產ヲ持テ居ル人ニ必ズ劣ッテ居ラヌ、保險思想ガ或程度マデアル、而モ尙財產ノ程度カラ申シマスルト、到底通常保險ニ入ル——現今多ク行ハレテ居ル、二百圓以上ノ保險ニ入ル資力ノナイ者カト云フト、本案ハ最低額二十圓ト云フコトニナッテ居リマシテ、二十圓カラ二百圓、七十五圓デモ目的ニ達シ得ルダラウカ位ニ豫算シテ居リマス、サウ云フヤウナ低イ定額ノ保險デアリマスノデ、現今ノ銀行ニ入ッテ居ルヤウナ階級以外ニ於テ此保險ニ進シテ入ル階級ハ隨分アル、又他ノ一方ニ於テ此知識ノ無イ通常ノ所謂下層社會デアリマシテモ、段々保險思想ガ擴マッテ參リマシテ、且ツ生活ガ困難ニナル今日デアリマスカラ、是等ノ低廉ナル低イ保險金額、又簡易ニ入ラレ、且保險料ハ少ナクテ、又集金ヲシテ與レルト云フヤウナ保險ガアッタラバ、且ツ其保險ノ必要ナル所以ハ先程肥後君カラ言ハレタヤウニ、全國七千以上ノ郵便局、及ビ之ニ關聯スル人ミガ説明ヲシ保險思想ヲ擴メルト云フコトニ努メナケレバ、サウ云フ範圍カラモ保險ガ得ラレヤウ、一方ニ於テ此頃ハ大キナ工場其他多數ノ勞動者ヲ使ヒマスル會社ト云フヤウナモノガ段々ニ出來テ居ル、サウ云フヤウナ團體ニ於テ或ハ團體的ニ勸誘ヲシテ居リマスカラ、普通保險會社ト云フモノ、範圍ト全ク違ッタ範圍ニ於テ、此小範圍ノ保險ヲヤル餘地ハ十分アラウト考ヘマス、即チ淺野君ノ御話ニナッタヤウナ中流以上ノモノニ向ヒマシテ此保險ヲ擴メルト云フデアリマセヌデ、中流以下ノ者ノ保險ヲ主トシテヤル政府ノ考デ出シタデアリマスカラ、中流以上ノ人ガ入ルハ例外的ニ稀デアラウ、又政府ハサウ云フ人ガ多ク入ルコトヲ希望シ、勸誘スルコトハ斷ジテシナイ考デアリマス

○淺野陽吉君 私ハツレヲ問フタ所以ハ、ツマリ是ガ下層社會ニ至リ及バナケレバ社會政策タル實ヲ舉ゲヌデアリマスカラ、吾々ガ憂フル如クナラバ本案ハ生命ヲ失ッテ形骸ニ止マリマスカラ問フタ譯デ、即チ私共ガ多年下層社會ニ於ケル殊ニ勞動者ニ向ッテ保險ヲ普及シタイト努メマシテ、種々苦心ヲ、又其支配人ニ交渉シテ種々努力ヲ致シマシタガ、日本ノ職工ハ保險ニ應ジマセヌ、ツレデ松本君ハ學者ノ研究ノ御經驗ニ對シテハ敬意ヲ表シマスガ、實際ノ經驗ニ至ッテハ私ガ一日ノ長タルコトヲ信ジテ居ル、且本案ハ契約者ニ對シテ何等制限ヲ設ケテ居リマセヌ、即チ箕浦遞信大臣モ遞信省モ同様ニ此本案ヨリ見レバ大事ナ御顧客様デアアル、ツレ故ニ下流社會ニ及ホサズ上流ニ及ボスト云フ傾キヲ心配シテ居ルデアリマス、即チ本案ノ精神ガ茲ニ亡ビヤセヌカト云フコトヲ憂ヘテ問フデアアルガ、今ノ御説明ノ如キ上流社會ハ餘リ歡迎シナイ、成ルベク之ヲ制限スルト云フ御決心ナラ稍安心スル譯デアリマスガ、唯其實效ガアルヤ否ヤヲ疑フノデアアル、次ニ問ヒタイコトハ私共ニ廻サレマシタ御趣意書、會社ヲ起スト云ヘバ事

業方法トカ營業案内ト云フモノデアラウト思フガ、ソレヲ熟讀スルト餘シ得タ所ノモノヲ年五朱ト週ハスト云フコトデアリマス、サウシテ社會政策ニ之ヲ使ウト云フ、年五朱ト云フト今日ノ金利ト安イ金利デアリマス、決シテ安イ金利デアリマス、殊ニ最モ安イ所ノ金或ハ無利息ノ金ヲ以テシナケレバ、社會救済ヲスルノニ改善ノ方法ニシテ社會政策ノ實效ヲ舉ルコトハ非常ニ困難デアルト思フテ居ル、然ルニ之ニ向ッテ年五朱ト社會政策ノ實效ヲ舉ゲヤウト云フハ餘リ悠張ツタ話デアル、今日此處ニハ實業家諸君ガ居ラレマスカラ、御同感デアウト思フ、政府者ガ机上カラ眺メテ居ラル、トハ大變違ヒマス、之ニ向ッテ政府ノ御自信ト且資金ヲ社會政策ニ使ウト云フナラバ、如何ナルコトニ御使用ニナルカ政府ガ法案ヲ出ストキハ立派ナコトバカリ竝ベテ繪ノ下書ハ誠ニ能ク見エルガ、彩色ヲ加ヘルト何時モマツイ繪ニナルコトガ多イ、ソレデ社會政策ト云フナラ是レノ斯ウ云フ事業ニ使フト云フコトヲ明カニ此處ニ公言シテ速記録ノ上ニ留メテ戴キタイ

○政府委員(法學博士松本丞治君) 唯今ノ御質問ハ後ニ關係シタコトガ御質問ノ主タルモノト思ヒマスガ、前ノコトニ付テモチヨット一言シタイト思ヒマス、淺野君ノ御話デハ屢々此下層社會ニ保險ノ普及ヲ努メテ見タガ、ナカノノイカヌト云フ御話デアリマスガ、私共ノ信ジテ居リマスル所ニ依テ見ルト、簡易保險ハ是マデ日本ニ存在シテ居リマセヌ、簡易保險ヲ下層社會ニ勸誘シテ見タコト云フ例ハアル譯ガナイト思フ、現今マデ行ハレテ居ルヤウナ普通保險、高イ金額ノ保險ト云フヤウナ保險ヲ普及スルコトハ出來ナイカラ、二十圓ト云フ特別ナ方法ヲ設ケマシタノデ、現在マデノ普通保險ガ到底勸誘等ノ效ガナイト云フコトヲ以テ、此簡易保險ヲ一様ニ見ルコトハ出來ナイ、即チ證據ニサル、所ハ見當ガ違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、私共ハ現在ノ保險デハ到底普及スルコトガ出來ナカッタカラ此方法ヲ講ズル、先ヅ二十圓ト云フ低イ金額ノ保險デ、此保險金ノ取立等ニモイロノノ便法ヲ設ケテ、現在ノ保險ガ及ビ得ナカッタ範圍ニ於テ新タニ簡易保險ヲ普及サセタイト云フ考デ居ルデアリマス、而シテ今淺野君ノ御話デハ上流社會ノ者ガ多ク這入ルダラウト云フ御話デアリマスガ、是ハ普通保險ト簡易保險ト保險料ノ高低ガアルト云フコトヲ眼中ニ御置キニナラナカッタコトデアラウト思ヒマス、普通保險ハ健康者ノ統計ヲ基礎トシマシテ純保險料ヲ計算致シマシテ、又普通保險ニ於キマシテハ保險料徴收其他ニ付テ比較的經費ガ少ナイ、其結果トシテ普通保險ニ於キマシテハ保險料ハ簡易保險ヨリ餘程廉クツテ濟ム——理論上濟ムデアリマシテ、且ツ實際カラ申シマシテ、概シテ政府ノ企畫シテ居ル簡易保險料ハ普通保險ヨリ二三割高イコトニナッテ居ル、養老保險ナドノ或部分ニ於テハ、數字ニ於テハ二三割高イト云フコトガ現レテ居ルヤウナ所ガアルカモ知レマセヌガ、普通保險ニ於テハ多クハ利益分配ヲスル、簡易保險ハ利益分配ハナインデアリマス、普通保險ノ所謂利益分配ト云フハ、語ヲ換ヘテ言ヘバ保險料ノ割戻ト云フモ宜シイ、即チ多額ノ保險料ヲ取リマシテツレヲ割戻ス、サウ云フ觀念ニナリマスカラ、普通保險ノ保險料ハ比較的数字上ハ高クナッテ居リマスガ、實ハ其數字ヨリハ少イト云フコトニナル、即チ要言シテ見マシレバ簡易保險ノ方ハ普通保險ヨリ學理上高クナラナケレバナラヌシ、又實際高イデアリマス、サウシテ見マスト普通保險ニ這入レル人ハ、何ヲ苦シテカ高イ簡易保險ニ這入リマセウカ、一年ニ一遍デモ掛

ケ得ルヤウナ人ガ、何ヲ苦シテカ月掛ト云フヤウナ面倒ナ高イ保險ニ這入ルコトガアラウ、稀ニハ例外トシテ全然無イト云フコトハ斷言出來マセヌガ、サウ云フ人ハ先ヅ少ナイ、吾々ノ目的ハ多數ノ下層社會ノ其目的ガ違セラレルト、信ジテ居リマス、ツレカラ次ノ資金運用ノ話デアリマスガ、唯今五分ト云フコトニナッテ居ルガ、ツレハ非常ニ高イ、五分分運用スルト云フヤウナコトハ社會政策ノ運用ガ出來ルカト云フ御尋デアルト思ヒマスガ、差當リ豫算ハ或ハ五分ト云フコトニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、此簡易保險ノ計算ノ基礎トスル豫定利率ハ二分五厘ト云フコトニナッテ居リマス、此頃ノ金利ハ一時或ハ下ッテ居リマセウガ、併ナガラ地方等ノ金利カラ申シマス實際ニ於テ高イノガ多イノデス、直接必要ヲ感ジテ居ルコロノ公益的社會政策的ノ事業デアリマシテモ、到底五分デハ金ヲ借り得ナイト云フ状態ニ在ルモノガ随分多ウカラウト思ヒマス、サウ云フ譯デ差當リノ計算トシテハ、或ハ五分ニナッテ居ルカト思ヒマスガ、併ナガラ豫定利率ハ二分五厘トナッテ居リマスカラ、其點ニ御誤解ノナイヤウニ希望致シマス、ツレカラ社會政策的ニ資金ヲ使フト云フコトデアリマスガ、是ハ必シモ簡易保險ノ新案デハナインデアリマス、外國ニ於キマシテ——簡易保險デアリマスガ、社會保險即チ勞働保險ト云フヤウナモノニ於キマシテハ、多額ノ資金ヲ集メマシテ之ヲ社會政策的ニ使用スルト云フコトガ一つノ從タル目的ニナッテ居ルヤウニ見エマス、殊ニ普通ノ老廢保險ノ如キハ、多クノ資産ヲ集メテ居リマス、而シテ此等ハ總テ社會政策的ニ投資サレテ居ル、之ニ依ッテ獨逸ノ社會政策ト云フモノ、受ケタ利益ガ巨大ナモノデアルト云フコトハ、勞働者保險ノ効能ヲ説明スル學者ノ一致シテ唱ヘテ居ル所デアリマス、サウ云フ先例モアリマスノデ、此簡易保險ニ依テ集メタ資金ハ成ベク社會政策的ニ之ヲ使用シ、從タル目的トシテ社會政策ヲ實ヲ舉ゲタイト云フ考ヲ以テ居リマス、其具體的ニ如何ナル事ニ使用セシメヤウカト云フコトニ付テハ企畫中デアリマス、勿論簡易保險ヲ始メマシタ所ガ、先ヅ數年ノ間ニ巨額ノ金ガ集マルト云フコトハナイン、是ハ淺野君ノハ能ク御承知ノコトデアリマシテ、初數年ノ間ハ多クノ金ガ殘ルト云フコトハナイン、ミナラズ、多少ノ不足ヲ感ズルコトデアラウ、サウスルト是ハ長イ後ノ問題デアル、十年後ノ問題デアラウト思ヒマス、其事ニ付テ具體的ノ研究ト云フコトハ多少ハシテ居リマスガ、唯今公言シテ置ク必要ハナイト考ヘマス、併シ遞信大臣モ言ハレマシタヤウニ、例ヘバ產業組合ノ如キモノニ貸シタリ、或ハ勞働者ノ住居問題ト云フヤウナ事柄——低廉ナル住宅ヲ供給スルヤウナ市町村ノ企ニ入レルト云フヤウナコトハ、或ハ一つノ方針デハナインカト思ヒマス、併シツレ等ノ具體的ノ事ニ付キマシテハ、マダ十分項ヲ舉ゲテ御答ヲスル時機ニ達シテ居ラヌ、又其必要ナイコト、考ヘテ居ルデアリマス

○淺野陽吉君 今ハ質問ノ時デアリマスカラ、成ルベク意見ハ申シマセヌ、マダ他ニ澤山御質問ノ御方モアリマセウカラ、成ベクツレハ避ケマスガ、政府ノ目論見トモ云フベキモノヲ拜見致シマス、民設ハイケナイ、官民併行モイケナイト云フ理由ノ下ニ、本案ノ實行ニ付テハ基礎ガ鞏固デナケレバナラヌト云フコトガ書イテアル、ツレカラ官營ノ特長トシテハ營業費ガ少ナイカラ宜シイト云フコトガ書イテアル、其外ニ民設ノ非ナリト云フ理由ガ書イテアルマスガ、營業ノ低廉ト云フコトガ書イテアル、ツレカラ官民併行ニハ無用ノ競争ガ起ルカライケナイト云フコトガ書イテアルガ、此外ニ尙理由ガアリマスガ

○政府委員(肥後八次君) 此印刷物ニハアリマスガ、此場合カツマリ……

○淺野陽吉君 其外ニハアリマセヌカ

○政府委員(肥後八次君) 此外ニハ

○淺野陽吉君 サレバ民設ニ於テモ基礎ガ鞏固デアレバ宜シイト云フコトニナルノデスカ、反問スレバ……

○政府委員(肥後八次君) 民設ガ政府ノモノト較ベテ鞏固デアルトハ信ジラレナイ、又政府ガヤリマス場合ニ同ク民業ガ併行シテモ競争ガ起ラヌト云フコトハ想像致シ兼ねルノデアリマス

○淺野陽吉君 私共思フニ世ノ中ノ進歩ト云フモノハ競争ニ基クト思フ、國營鐵道ノ行ハレタル今日ニ於テ考ヘルト、今マデ山陽鐵道ガ私設デアッタナラバ、鐵道經營法ハモット進歩シテ居ルグラウト思フ、官民相併行シテハ無用ノ競争ヲ起スト云フノデ、競争ヲ捨テ、シマッテ華族様ノヤウナ生活ヲシヤウト云フ御考デアルカ、是ハ世ノ進歩ヲ厭ハル、トコロノ方法デアルト考ヘマス、是ハ意見ニナリマスカラ申シマセヌガ、此目論見書ニ書イタル外ニ、民設非ナリ、官民併行非ナリト云フ理由ハ無イト云フコトヲ承知シテ置ケバ宜シ、次ニ本案ニ三百圓ヲ限度トシテ居ラレマスガ是ハ箇々ノ契約ニ付テハ三百圓ト云フコトナラ甚シキ打撃ハアルマイト思フ、併ナガラ實際應用致シマスレバ、例ヘバ斯ク云フコトニナル、一家ノ家長ガ五百圓ノ契約ヲシヤウトスルトキニ、之ヲ分割シテ三百圓ハ自己ガ付ケテ、二百圓ハ家族ガ付ケルト云フコトニナルト、民設會社ハ五百圓ノ範圍マデ競争シナケレバナラス、既得ノ利益範圍ヲ侵害サレルトナル、モウツノ例ヲ舉ゲテ見ルト、其家ガ千圓ノ保險ヲ付ケル資力ガアルトシマスルト、家長ガ三百圓付ケ長男ニ三百圓自分ノ妻ニ三百圓付ケレバ約千圓マデハ民設會社ガ有ッテ居ル既得ノ利益ヲ侵害サレルト見ナケレバナラス、其打撃ガ甚ダ多イト考ヘマス、民設會社ハ三十有五六十年ノ間苦心シテ、競争ノ結果今日デ四十一殘テ居リマス、即チ血ト涙ヲ以テ築上テテ契約件數ハ二百万以上ニ達シテ居リマス、是ハ三十有五六十年間ニ血ト涙トノ固マリデアル、是ガ打撃ヲ受ケテモ構ハヌト云フハ、是ハ天下ニ立ッテ何等ノ事業經營ノ苦ヲ知ラナイ人ノ寢言デアル、ソレハ或點マデハ宜シイガ、斯ノ如ク民設會社ニ打撃ヲ與ヘルト云フコトハ、政府ノ御一考ヲ願ハナケレバナラス、サウシテ保險業ノ經營トシテハ、申スマデモナク新契約ヲ要スルノデアル、其新契約ノ既得ノ範圍ヲ侵害スルト云フコトモ變ヘナイデ居ッタナラバ、三十有五年ノ苦ヲ宜シク察シテ戴カナケレバナラスノデアリマス、然ル所五百圓程度マデ侵サル、モノト見ルト、既設保險會社ガ如何ニ侵サル、カト云フコトヲ申シマスレバ、此一覽表ニゴザイマスルガ如ク、殆ド六割、契約人員ニ於テ六割、其金額ニ於テ四割強侵サレルトデアリマスカラ、是ハ由々シキ大事ト言ハナケレバナラス、ソコデ是ハ本案實行ノ結果、政府ノ言ハル、如ク既設保險會社ガ手ヲ著ケ得ナイ新方面ニ開拓サレルト云フナラバ宜シイガ、サウデナカッタナラバ由々シキ大事ト言ハナケレバナラス、之ニ向ッテ此三百圓見當ツ云フモノハ政府ハ確信シテ是レ以下低下ハ出來ヌト云フコトデアルカ伺ッテ置キタイ、是レ以下ニハ下グラレヌト云フ御考デアルカドウカ、尙ホ貯金局長ハ御就任日ガ淺イコトデアリマスカラ、私ハ深く追窮ハ致シマセヌ、松本サンカラデモ十分ニ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士松本丞治君) 唯今御話ノ最初ノ點デゴザイマス即チ簡易生命保險官營ノ理由ハ此御參考ニ上ゲデアリマスル理由トシテ上ゲデアリマスガ、基礎ノ鞏固、經費ノ節約ト云フコトニ盡キルカト云ヘバ、必ズ是ニ盡キテハ居リマセヌ、獨占ニスルト云フコトニ付テハ、ヤハリ一ツノ官營ニスルトノ大ナル理由デアリマス、此競争ト云フモノガ必要ト云フコトヲ類リニ仰シヤリマスガ、簡易保險ハ通常保險ト性質ガ違ヒマスノデ、小サイ保險ヲ集メマシテ一々細カイ所ノ集金ヲスルノデ、普通ノ例デアシマスルト、牛乳屋見タヤウナモノデアリマス、牛乳ヲ配達シテ行キマスルト、競争者ガ澤山アリマシテ、同ジ區域ニ多クノ牛乳屋ガアリマシテ、非常ナ遠クマデ配達シナケレバナリマセヌ、簡易保險ハ牛乳屋的デ二十圓ト云フヤウナ契約ヲ限リテ、極ク零細ノ金ヲ集メルタメニ二三回モ四回モ廻ル、一年ニ二三回廻ルトスルト二十六回、ソレデ極ク集メル金ハ少ナイノデアリマスカラ、成程多クノ會社ト競争スル性質ヲ有ッテ居リマスレドモ、其結果トシテ外國ノ實例カラ言ヘ、通常ノ保險ノ外國ニモ小サナ多クノ保險會社ガアリマスガ、此簡易生命保險會社ニ付キマシテハ、外國ニ於キマシテモ如何ナル國ニ於キマシテモ、或ハ一ツツカ、或ハ二ツツカ、或ハ三ツツカ云フヤウナ、比較的少ナイ少數ノ會社ガ自然的ニ獨占シテ居リマス、即チ簡易保險ノ性質カラ申シマシテ、獨占的ノ傾向ト云フコトハ當然有ッテ居ルモノデアリマス、其點カラ申シマスルト簡易保險ト云フモノヲヤル以上ハ、自カラ獨占ト云フコトガ出テ來ル、成程最初ハ多クノ競争者ガ出ラレアリマセウガ、競争ノ結果ハ多クノモノハ倒レテ、或ハ一ツツカ或ハ二ツツカ殘ル、其多クノモノガ倒レルト云フコトハ、非常ナ被保險者ニ慘害ヲ與ヘルヤウニナツテ、殊ニ下層社會ニ於テハ其多クノ會社ガ倒レルト云フコトハ重大ナコトデアリマス、競争ノ結果ト致シマシテサウ會社ガ倒レテ、一社會モ殘ラヌト云フコトニナルト、被保險者ト云フモノハ非常ナル慘害ヲ被ル、サウ云フコトノナイ爲ニ最初カラ獨占ニスルガ必要デアル、而シテ又此各國ノ實例カラ申シマス、此一二ノ會社獨占シマシテ結果ト致シマシテハ、是等ノ會社ガナカク、横暴ナコトヲヤル、其結果トシテ非常ナ利益ヲ獨占シマシテ、被保險者ガ比較的高イ保險料ヲ拂ハナケレバナラス、又解約等ノ場合ニ於テ拂戻金ヲ比較的低シシカ與ヘテ與レナイデ、獨占會社ガ非常ナ利益ヲ得テ居ルト云フコトハ行ハレテ居リマス、甚ダ不都合デアルト云フコトノ聲ハ諸國ニ於テ起ッテ居リマス、ソレデ此簡易保險ヲ性質上獨占的デアルト云フコトデアレバ、初メヨリ官營デアル、此獨占ノ趣意ハ金ヲ儲ケルト云フヤウナ主義ノ籠テ居ルモノニ許サルベキ筋ノモノデナイ、獨占デ官營デアルト云フコトガ必要デアル、ソレガ官營ノ理由ノ一トナツテ居リマス、其他ニ於キマシテモ此官營ニシナケレバナラスト云フ理由ハ多クアリマス、必シモ此處ニ列記シテ居ルモノダケニ止リマセヌ、第二ノ民業トノ關係民業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、別ノ政府委員カラ御答スルコトト思ヒマス

○政府委員(岡實君) 此簡易保險ノ實施ニ付キマシテ……

○淺野陽吉君 此三百圓限度ハドウシテモ政府デハ切下グラレヌカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ハ之ニ向ッテ修正ノ意見ヲ有ッテ居リマスカラ、ドウシテモ切下ゲハ出來マセヌカト云フコトヲ……

○政府委員(法學博士松本丞治君) 此事ハ重大ナコトデアリマスカラ、遞信大臣ガ

御答ニナルノガ至當アラウト思ヒマス

○淺野陽吉君 宜シウゴザイマス、今ノ御答辯ハ遞信大臣ノ御出ノ上マデ保留シテ置キマス、次ニ先刻松本サンカラ保險料ノ點ニ付テテヨット御話ガアリマシタガ、此政府カラ廻サレタ説明書ニ依ルト、年齢三十ノ場合ニ於ケル例ヲ一ツ舉ゲテ居ル、ソレハ終身保險ガ二十四錢、ソレカラ養老保險ガ四十五錢ト云フコトニナツテ居ル、之ヲ私共ハ民間ノ側ノ保險料ニ較ベマス、政府ハ簡易保險ノ保險料ハ高ク取ルカラ民業ヲ壓迫シナイト云フコトヲ仰セラルガ、私共ノ比較シタ所ニ依ルト、民間ノモノヲ月掛ニ直シマスレバ、終身保險ニ於テ三錢乃至四錢程民間ノ方ガ廉イ、併ナガラ養老保險ニ於テハ民間ノ方ガ二錢乃至四錢程高イ、政府ノ方ガ廉イ、養老ノ點ニ於テ大ニ侵サレハセヌカト云フ憂ヲ有テ居リマスノミナラズ、政府ハ殊ニ此募集ノ方法トシテ手數料ヲ保險金額ノ千分ノ六拂フト云フコトヲ之ニ書イタル、ソレカラ官營ト云フ一ツノ金看板ヲ有テ居ル、是ハ必ズ迫害ガ民間ニ來マス、殊ニ創立以來マダ五年ヲ經過シナイ地盤ノ固マラス保險會社ニ甚ダシキ迫害ガ來ルト私ハ確信シテ疑ハヌ、是ハ實驗カラ見マシテ當然アラウト思フ、是ハ天下公平ノ論者モ疑ハヌト思フ、ソレ故ニ本案實行ノ緩和策トシテ二百圓限度ヲ切下ケテ戴キタイ、政府カラ廻ハサレタル英國ノ簡易保險ノ平均額ハ約百圓ニナツテ居ル、英國ガ平均百圓ナラバ、日本ハ百五十圓乃至先ヅ二百圓位ニ止メテハドウカト云フ意見ヲ有テ居ル、モウ一ツノ緩和ノ方法トシテ、本案ハ契約者ニ對シテ資格ヲ制限シナイガ故ニ、下層社會ヨリ中流上流ニ至ルマデ同様ノ價格デアリマスカラ、本案ノ一半ハ社會政策ノ爲メデアルケレドモ、上流社會ニ及ブ所ハ非社會政策ト云ハナケレバナラヌカラ、其非社會政策ノ性質ヲ有テ居ルモノダケラ本員ハ別ノ修正ヲ加ヘテ切捨テ、貫ヒタイト考ヘテ居ル、即チ契約者ノ資格ニ對シテ、納稅額ヲ以テスルカ、或ハ他ノ方法ヲ以テスルカ、何等カノ制限ヲ置キタイ、是ガ私ノ考ヘテ居ル緩和策デアリマス、之ニ對シテハ如何ナル御考デゴザイマス

○政府委員(法學博士松本丞治君) 納稅額等ニ依ツテ資格ニ制限ヲ設クル考ガアルカドウカト云フコトニ付テ御答ヲ私カラ致シタイト思ヒマス、上流或ハ中流以上ノ社會ノ人達ガ其保險ニ入ツテ來ルト云フコトハ非社會的デアルト云フ御話デアリマスガ、吾々ハ非社會的トハ思ッテ居リマセヌ、是等ノ人ハ例外的ニ先ヅ以テ入ラヌト信ジテ居リマス、尙先程仰シヤッタ數字ニ付テ一言致シマスガ、唯今御話ノ養老保險ノ場合ニ於テハ、私設會社ノ保險料ノ方ガ却テ高イト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ如何ナル統計ニ基カレタモノデアルカ分リマセヌガ、左様ナコトハ先ヅ以テナイ、例外的ノ或ハ高イ會社ノ場合ニノミアルダラウト思ヒマス、尙先程チヨット一言御答シテ、其事ハ豫メ申シテ置イタルデアリマスガ、私設會社ニ於キマシテハ多クハ利益配當ヲ致シマス、即チ保險料ノ表面ノ額ハ高イノデアルガ、事實ニ於テハ割戻ニナルカラ低イノデアル、簡易保險ニ於テハ利益配當ヲシナイノデアルカラ、數字ノミニ依ツテ其論ヲサレテハ困ルト云フコトヲ一言申シテ置キマシタ、思フニサウ云フ場合ニ適合スル場合デナカラウカト考ヘマス、大體ニ於テ此簡易保險ノ保險料ガ通常ノ生命保險ノ保險料ヨリモ、或ハ二三割近クモ高イト云フコトハ爭フコトノ出來ナイ事實ト思ヒマス、サウ云フコトデアリマスカラ、通常保險ニ入リマスル所ノ人ミガ簡易保險ニ進シテ入ルコトハ、先ヅ以テ例外的ノ場合

デアラウト吾々ハ考ヘテ居ル、而シテ此例外的ノ人ガ入ッテ來ルトガアツタ場合、ソレガ非社會的デアルカト云フト、必ズシモサウデナイ、例外的ノ人ガ入ッテ參リマシテモ、其人ガ入ッテ來タ爲ニ政府ガ別ニ何カ負擔ヲシナケレバナラヌ、被保險者一人ニ付テ幾ラノ割増金付ノモノヲ政府ガ支出スルモノデアルカト云フト、サウ云フ趣意デアリマセヌカラ、例外的ノ人ガ入ッテ來マシテモ、別ニ國庫ガソレニ依ツテ不利益ヲ蒙ルコトハナイ、寧ロ人ガ多イ方ガ或ハ都合ハ宜イノデアリマス、來ル者ヲ決シテ拒ム趣意ハナク、又來マス爲ニソレガ非社會的ナリト云フコトハナイ積リデアリマス、併ナガラ加入者即チ被保險者ノ資格ニ制限ヲ付ケルト云フコトハ、社會政策ト云フ側カラ申シマス、或ハ必要ナコトデハナイカト云フコトヲ吾々モ實ハ考ヘタデアリマス、其趣意デ制限ヲ置クコトヲイロ／＼企畫致シマシタ、併ナガラ到底實行ガ出來ヌト云フコトニナツタデアリマス、其事ヲ多少詳シク御話ヲ致シマス、加入スル人ガ加入スル場合ニ於キマシテ、ソレガ例ハ直接國稅十圓ナリ五圓以上ヲ納メテ居ル人デハナイ、或ハ其以上納メテ居ル人ノ家族、或ハ家族ニ準ズベキ者デナイト云フヤウナコトヲ調ベテ、而シテ其資格制限ノ趣旨ニ適タ人デケヲ入レルト云フコトニシテハドウカト云フコトヲ考ヘマシタ、是ハ到底實行ガ出來マセヌ、即チ先ヅ其制限ハ何デ極メルカト云フト直接國稅ノ納稅額ノヤウナモノデ極メル外實行シ得ラレル案ハナイ、併シ此直接國稅ト云フヤウナモノハ、必ズシモ其人ノ富力ヲ明ニ示シテ居ルモノトハ決シテ言ヘマセヌ、社債トカ公債或ハ株券ト云フヤウナモノデ衣食シテ居ル人ハ、巨萬ノ富ヲ有テ居リマシテモ直接國稅ハ拂ハヌデ濟ム、之ニ反シマシテ比較的苦シイ生活ヲシテ居ル者デアリマシテモ、地租等ノ直接國稅ヲ比較的多ク納メルヤウナコトモアリマシテ、到底直接國稅ノ如キモノヲ以テ人ノ資力ヲ判定スル標準トスルコトハ出來ナイ、是ガ出來ヌト假定シマシテ、サウ云フモノ、制限ト云フモノハ、餘リ公平ナル制限デハ決シテナイト思ヒマス、併シ先ヅソレモ大體ハ分ララウト云フコトデ、假リニサウ云フ制限ヲ設ケルト假定シテモ、ソレ／＼之ヲ調べル上ニ付テ非常ニ多數ナル者ニ對シ、其家族等モアリ旁／＼到底實行ハ出來ナイコトデアリマス、ソレモ僅カ保險金額二十圓ト云フ小サイ契約スルタメニ、一人々々ノ被保險者ニ對シテ資格ヲ調ベルコトハ出來ナイ、然ラバ這入ル者ニ何カ證明ヤウナモノヲ持ッテ來サセテハドウカト云フコトモ考ヘマシタガ、是モナカ／＼實行ガ出來ナイ、何ゼナレバ簡易保險ニ這入ルタメニ證明ガ要ルトスルト、此證明ヲ得ルタメニ二日モ三日モ暇ヲ潰サナケレバナラナイ、ソジナムズカシイモノヲ持來サセルト云フコトニスルト、所謂門ヲ開イテ置イテ這入ル人ヲ止メルト云フヤウナコトニナリ、是ハ此簡易保險ト云フモノ、本質ト反對スル結果ヲ生ズルノデ、是ハ到底出來マセヌ、假リニソレモ出來テヤッテ見ルシテドウナルカト云フト、這入ル時ハ成程金ハ無イ、併シナガラ保險金ヲ得ル時ニ於テハ巨萬ノ富ヲ有テ居ルデ、救済ヲ必要トシナイ者モ出來、又ソレト反對ニ這入ル時ハ資格カラ行ッテ少シムツカシイ者デモ、其人ノ將來ヲ考ヘルト、段々收入ガ減ッテ來ルト云フコトハ明カデアルト云フ人デモ、制限ガアルタメニ不幸ニシテ這入レヌト云フコトニナルト却ツテ社會政策ニ反スルコトニナルデアリマス、假リニ此複雜ナル手數ヲ忍ブトシテモ、都合ノ惡イコトガ出來ルノデアリマス、又更ニ一歩ヲ讓ッテサウ云フ都合ノ惡イコトモ假リニ宜イトシテ考ヘマシテモ、ソレニ依ツテ門戸ヲ閉ヂテ拒ミ得ル人ハドウカト云

フト、極メテ例外的ノ僅少ナルモアリマス、上流ノ者ハ無論、中流ノ人ト雖モ好シデ此簡易保險ニ應ズル者ハ極メテ少數デ、吾々ノ期圖スルところノ人ハ重ニ中流以下ノ者アリマスカラ、是等複雑ナル手數ノカ、制限ヲ設ケテ拒ムシテモ、ソレハ極メテ少數デアッテ、多クノ費用ヲ要シ、手數ヲ掛ケ、複雑保險ニシテ多少ノ不公平ヲ眼中ニ置カヌコトシテ實行シテ見タコトガ、其效果ハ極メテ少ナシ、極ク少數ノ人ヲ除クタメニ斯カルコトヲ爲シ、全體ノ此保險ノ勸ヲシテ薄イモノニシテシモウダケノ必要ハ毫モ無カラウサウ云フ考ヲ以テ、此加入當時ニ於テノ制限ヲ設クルコトニ付テハ是ハ、到底實行ガ出來ヌコト云フコトニ吾々ハ考ヘタノデアリマス、次ニ然レバ此保險事後ニ起ツタ場合、即チ死亡或ハ養老保險ノ期間ガ満了シテ保險金ヲ受クル場合ニ於テ、適當ノ資格アル者ニ割増金ヲ與フル、即チ中流以下ノ人ト云フモノニ割増金ヲ與ヘ、其以上ニハ割増金ヲ與ヘヌコト云フコトニシタナラバドウカ、是亦一ノ制限デアラウ、即チ前ノハ事前ノ制限デ、是ハ事後ノ制限デアッテ、是モ一策デハナカラウカ、サウスレバ先程申シタヤウナ保險金ヲ受ケル當時ニ於テ金ガ出來タ者ハ、事後ノ制限ノ方法ニ依レバ割増金ヲ得ルコトガ出來ヌコトニナリ、是ニ反シテ保險加入ノ時ハ金ガアツテモ、保險金ヲ受クル時ニ當ツテ金ガナクナツタ者ハ割増金ヲ受クルコトガ出來テ、勢ヒ是ハ社會政策カラシテモ宜クハ無イカト云フ考デ、又此事後ノ制限ノ方ガ多少便利ノ點ガアル、ソレハ外デアリマセヌ、這入ル時ニ資格ヲ調ブルコト云フコトニナルト、多數ノ人ニナリマスノ手數ガ大變カ、リマスガ、事後ノ制限ニスルト、資格ヲ調ブルニシテモ極ク少數ノ人ニナリマスノデ、無用ノ勞力ヲ費サズシテ済ムコトニナルノテ便利デアルト考ヘタノデアリマス、是ハ新案デ、外國等ノ勞働者保險ニシテモ嘗テ聞イタコトナイコトデ、サウ云フ考ヲ起シマシタガ、是亦實行ガ出來難イコト申スノハ、前ニモ申シマシタ如ク、直接國稅ヲ以テ人ノ富力ヲ計ルコトハ出來ナイ、或ハ又選舉人名簿等ヲ利用シテ調査シタラ簡デハナカラウカト云フコトモ考ヘマシタガ、是モ御承知通り選舉權ヲ用ユル者ハ二十五歳以上ノ男子、其他一年以上其市町村ニ住居ヲ定メテ居タ者トカ、イロ／＼ノ制限ガアリマシテ、全國總テノモノガ載テ居ル譯デナイ、ソレデ又直接國稅例ヘバ十圓トシテモ、今日ハ以下デアッテモ忽チ以上ニナル者モアリ、或ハ其家族ニ付テ調ベルト云フコトニシテモ、非常ナル手數ガ掛リ、絶對的ニハ不能ト云フコトデアリマセヌガ、先ヅ不能ノコトデアル、多數ノ保險金ヲ受取ル場合ニ一々之ヲ調査スルト云フコトニナツテハ、到底是ハ費用ダケデモ大變デアッテ、ソレニ依ツテ得ル金額ハドレダケカト云フ、保險金ノ僅ニ二十圓ト云フコトデ、到底是モ實行ガ出來ヌ、又サウ云フコトヲ實行シマシタコトガ、ソレニ依ツテ拒ミ得ル人ハ、先程御話シタ通り例外的ノ少數者デアル、非常ナル勞力ヲ用非、非常ナル手數ヲ忍ビ、此ノ如キ方法ヲ講ジテモ受クルコトノ實益ハ極メテ少ナシ、サウ云フコトニ種々研究ノ結果歸著致シマシタ、ソレデ制限ト云フコトヲ置クコトハ出來ヌ、而シテ置カナイデモ先程申シタ通り吾々ノ考ノ中ニ置イタル制限以上ノ人ハ例外ニシカ來ナイ、全體カラ比較シテ申セバ極メテ少ナイデアルカラ、必シモ制限ヲ置ク必要ハナカラウト、斯ウ考ヘタノデアリマス

○淺野陽吉君 私ノ疑問トスル所ニ付テ深ク御考慮ニナツタコトハ諒承致シマシタ、又此案ニ付テ重キヲ置イテ居ル最高限度ノ二百圓ヲモウ少シ下ゲテ貰フ考ハ無イカト云フコトヲ先程御話致シマシタコト、ソレハ主務大臣ノ御出席ノ上ト云フコトデアリマシタ、デ本案實行ノ曉ハ既設會社ニ打撃ノ及バヌコトハナイ、會社ニ依ツテ多少厚薄ノ別ハアリマセウガ、打撃ヲ蒙ルコトハ疑ナイト思ヒマス、ソレデ本案ヲ施行スル上ニ於テ緩和シテ貰ヒタイ、官民兩方トモ圓満ニ緩和シテ貰ヒタイ、出來ルダケノ範圍ニ於テ緩和シテ貰ヒタイ、英吉利ノ保險額ヲ見マス約百圓ノヤウデアリマス、ソレデ出來得ベケンバ百五十圓乃至二百圓位ニ低クシテ貰ヒタイ、最高限度ヲ其點ニ於テ、何トカ政府ニ於テモ餘地ヲ存シテ之ニ對スル御考ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(荒川五郎君) 日本ノハ七十五圓ニナツテ居ルと思ヒマス

○淺野陽吉君 私ノ問フハ、富ノ高イトコロノ英吉利デ施行シタ平均額ハ百圓ニナツテ居ルカラ、日本ハソレヨリ富ノ度ノ低イ所デアルカラ百五十圓乃至二百圓位ニシテハドウカト云フ問デアリマス

○逓信大臣(箕浦勝人君) 最高金額ヲ下ゲル考ハナイカト云フコトデスガ、淺野君ハ二百圓デハ少數保險會社ニ打撃ヲ與ヘルト云フ御話デアリマスガ、政府ハ左様ニハ見テ居リマセヌ、勿論多少ノ影響ハアルダラウト考ヘマスガ、併ナガラ大ナル打撃ヲ與ヘルト云フコトハ見テ居リマセヌ、先達本會ニ於テモ一應説明シタヤウナ次第デアリマシテ、先ヅ二百圓ガ我邦ノ現狀ニ於テ適當デアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ段々詮議スルニ當ツテ、何カ更ニ良キ名案ガ出來マスレバ勿論其名案ニ就キ篤ト考ヘテ、ソレニ應ジテ、イカナケレバナラヌコト、信ジマスガ、今日ノ所デハ二百圓ガ適當ナリト考ヘマス

○吉植庄一郎君 先日本會議ニ於テ逓信大臣ヨリ提出ノ理由ヲ御述ベニナリマシタノデスガ、其理由ヲモウ少シ詳シク願ヒタイト思ヒマシタ、其上ニ質問シタイト思ツテ居タノデアリマス、併シ既ニ淺野君ニ依テ私ノ問ハントシタ所ノ大體ハ問ハレテ居ル、重ネテ淺野君ト政府委員トノ質問應答ニ付テ疑ノ點モ澤山アリマスガ、政府ガ此提案ノ趣意ハ極メテ社會政策ト云フコトニ御述ベニナリマシタ、是ハドウモ私共ガ今マデ聞イタコロノ説明デハ甚ダ了解ニ苦ムノデアル、本案施行ノ上ニ於テ如何ナル點ガ社會政策ニナルカ、本案施行ノ上ニドノ點ガ斯様ナルコトガ現政府ノ趣意トスル社會政策デアルト云フコトガ明瞭デアリマセヌ、唯ダ學者ガ言フヤウナコトデハ、是ガ社會政策ニナルト云フコトデナケレバ私共ニハ了解ガ出來ナイ、如何ニモ名ヲ社會政策ニ藉リテ、其實際ニ於テハ社會政策ト中心ニ觸レテ居ナイ、名ヲ籍リテ居ルノデハナイカト云フ疑ヲ有ツテ居ル、此點ヲ政府ハ政策トシテ御提出ニナツタ以上ハ、如何ナル點ガ社會政策ノ中心ニ觸レテ居ルカ、是ガ社會政策デアルト吾々ハ感知シタ以上テナイト、此聲明ニ對シテ信用ヲ置クコトガ出來ナイノデアリマス、提案ノ骨子ハ民間保險業者デ爲スコト能ハザル、即チ目下保險業者ノ爲ス範圍ニ於テ出來ナイコトヲ國家ノ力ヲ以テヤル、即チ是ガ社會政策ヲ實行スルノデアルト云フコトニナツテ居ルヤウニ聞テ居リマスガ、如何ナル點ガ社會政策ニ觸レテ居ルカ、之ヲ具體的ニ明確ニ御話ヲ伺ヒタイ、是ガ第一點デアリマス、第二ハ本案施行ノ結果トシテ集マツタ金若クハ儲カタ金、サウ云フモノヲ社會政策的ノ事業ニ使フ、サウ云フコトガ一ノ理由ニナツテ居ルヤウデスガ、ソレハ先刻淺野君カラ御尋シタトキニ政府委員ハ一一ノ例ヲ言ハレタヤウデスガ、ソレハ十年ノ後ノコトデアルカラ、研究モ十分ニ積ンデ居ラヌ、追々研究シテ間ニ合ウコトダラウト云フコト

デシタガ、果シテコレハ遞信大臣ノ認容セラル、答辯デアリマス、吾々ノ考フルトコロハ、政府ガ社會政策實行ト云フコトヲ眼目ニシテ此案ヲ提出シタ以上ハ、其結果ニ付テモ十分明瞭ニシテ置カケレバナラス、多分社會政策ニ效力ガアルヲ思フカラ出シタト云フ譯ニハイカナイ、斯様々々ノ譯テ結果ハ斯様ニナルト云フコトノ十分御確信ガナケレバナラス答アル、此ニ於テ將來如何ナル社會的事業ニ此資本ト云フモノヲ運用スルノアルカ、此事ニ付テ十年後ノコトアルカラ今極メテ置ク必要ハナイト云フ言葉ハ極メテ無責任ナルコトデアッテ、苟モ立法スル場合ニ於テ、斯様ナル問題ハ豫メ其目的ノ爲メニ其案ガ出來ルト云フテモ宜イ位デアルカラ、サウ云フコトハ既ニ計畫ヲ立テ、ナケレバナラス思フ、此點ニ少シモ政府委員ノ答辯ハ解釋ヲ與ヘテ居ラナイ之ヲ具體的ニ御説明ヲ願フテ置ク必要ガアルト云フモノハ、一方ニハ又危險ガ伴ウデアリマス、今日遞信省ガ熱心ニ努メラレタ郵便貯金ノ如キハ、洵ニ遞信省ノ勳ニ依テ金額モ増シ來テ喜ブベキコトデアル、然ルニ之ニ對シテハ事實大ナル非難ノ聲ガ起ツタデアル、ソレハドウ云フコトカト云フト、零細ナル地方ノ資金ヲ集メテ、之ヲ中央ノ國庫ニ集中シテ、サラヌダニ地方ノ資金ハ缺乏シテ居ル狀勢デアルニ拘ラズ、中央ニ此資金ヲ集中シテ、漸次ニ地方ヲ潤澤セシムルト云フコトニナツテ居ル、政府ガ郵便貯金ノ便利ヲ認メ、利率ヲ引上ゲテ零細ノ資金ヲ吸收スルコトハ、一方ニ國民ノ貯蓄心ヲ増シテ往クコトニ利益ハアルケレドモ、一面ニ於テハ今申ス通り此零細ナル資金ヲ中央ニ吸收シテ、資金ノ腦充血ヲ誘起スルノ虞ガアル、是ハドウシテモ地方ニ向テ何トカ方法ヲ講ジナケレバ、此效果ヲ完ウスルコトガ出來ナイ、此害ヲ除クコトガ出來ナイト云フコトニ付テ、議會ニ於テハ屢々議論サレテ居ル、曩ニ丁度第二次桂内閣ノ時分デアッタ思フガ、郵便貯金ノ問題ガ一層ヤカマシクナツテ、當時ノ平田内務大臣ニ向テ議會カラハ委員會ニ於テ非常ナル辯論 攻擊ガアツタ、サウシテ政府ハ如何ニモ尤ナコトデアルカラシテ、此金ハ地方ニ還元スル方法ヲ執リス、斯ウ云フコトデアッテ、即チ地方ニ低利資金ナリ、其他ノ方法ヲ以テ之ヲ還元スル方法ヲ執ル、サウシテ當時議會ノ輿論ハ、少クモ此金額ノ半分——一億萬圓ノ郵便貯金ガアルナラバ一億萬圓大ケハ地方ニ還元スル方法ヲ執ラナケレバナラス、程度ヲ定メナケレバ可カス、唯成ルベクト云フヤウナボンヤリシタコトデアッテハ、何時モ政府者ハ之ヲ實行シテ驗シガナイ、常ニ國庫運用ノ便利ニ之ヲ惡用シテ、財政遣リ繰リノ手段ニミ供セラレテ、未ダ曾テ此事ガ實現サレタコトハナイ、故モ政府ガ郵便貯金ヲ一層獎勵シヤウト云フ計畫ヲ茲ニ進メル以上ニ於テハ、此機會ニ於テ是非トモ此還元ノ方法ヲ明確ニシテ置ク必要ガアルト云フノデ、大藏大臣ノ出席ヲ促シ、覺書マデ作ッテ此覺書ニ依ッテシナケレバイカヌト云フ議論ニツタ、政府ヲ信用シテ貴ヒタイト云フ當局ノ御意見デアッタケレドモ、政府ハ永久ニ同一ノ政府デ——政府ハ永久デアルガ、政府當局者ハ常ニ更替シテ居ルノデアル、其當時ノ當局者ノ左様ナ言質ヲ取ツテ居タ所ガ、内閣變レバ忽チ變ッテシマフ、故ニ成ルベク是ハ明白ナルモノニシテ置カケレバ、議會ハ唯認容シテシマフ、後ニ於テハ何時モ議會ハ「ベテン」ニ掛ルヤウニナル、是ハ宜シクナイカラト云フノデ、イロ／＼折衝モシ、三分ノ一ト云フコトニナツタ、其三分ノ一ハ必ズ低利資金ニ廻ハスト云フコトハ總理大臣マデモ出席ヲ促シ——其當時ノ總理大臣ハ桂公、サウシテ堅キ約束ヲ結ンデ致シタノハ、私が當時ノ委員ノ一人トシテ記憶シテ居ル、然ルニ爾來ノ經過ト云フモノハ、御承知ノ通り

郵便貯金ナルモノハ常ニ國庫運用ノ資源ニ供セラレテ居ル、其約束ハ僅カ一時行ハレタダケデアッテ、忽チ是ハ反古ニナツテシマツタ、此經過ニ依リマシテ將來私ハ此案實行ノ上ニ於テ政府ノ言フガ如キコトニ行ハレバ、此成績ガ舉ルカ否ヤニ付テハ大ナル疑問ヲ有ツテ居タ、追々此點ニ付テ御尋ネシタイト思フテ居リマスガ、幸ニ政府當局ノ見ル如ク本案ノ實行ガ著ク效ヲ奏シテ、將來非常ナル資金ヲ吸收スルコト云フ場合ガ生ズルト云フコトハ政府ガ豫期シテ居ルノデアル、此豫期シテ居ル場合ト今日我が國ノ財政狀態及前途ノ狀態ヲ考ヘテ見マスルト、現内閣ノ如キハ既ニ有ユル剩餘金ヲ御使ヒニナツテシマツテ、財源ニ窮シテ、貨幣整理基金、森林基金ノ如キ、戰時ノ場合デナケレバ使フコトノ出來ヌ金マデモ財源ノ一部トシテ之ヲ使フテ居ルト云フヤウナ、實ニ貧弱極ル財政ノ狀態ニナツテ居ル、海軍擴張ノ如キニ至ッテハ、明年ハ何ヲ以テ財源ニ供スルコト云フコトニ付テハ、殆ド政府ハ大藏大臣ニ信賴スルト云フ一言ノ外ニハ、具體的ニ之ヲ説明スルコト能ハザル窮境ニ立ッテ居ルノデアル、斯ウ云フ財政狀態ハ増稅デモスル外ニハ當分此回復ト云フコトハ何人モ豫期出來ナイ、政府財政ノ窮乏極ル危險ナル狀態ニナツテ居ル、而シテ一方ニ於テハ此財政ノ缺乏ニ資スルガ爲ニハ、極端ニ政府ノ力ヲ以テ勸誘ノ——全國七千ノ郵便局ヲ利用シテ——利用スルノハ宜シイガ、事ニ依レバ害用シナイトモ限ラヌ、政府ガ稅ノ誅求ヲ大藏大臣カラ命ジタコトハ一回モナイケレドモ、下級ノ官吏ハ大藏省ノ顔色一ツヲ見レバ必ズ誅求ニ流レル、故ニ從來モ屢々誅求ノ聲ガ民間ニ喧シキ所以デアル、官憲ヲ以テスルコトハ、我が國民性ニ於テハドウモ官憲ニハ服從シ易イ、徳川三百年來ノ壓制政治ニ慣レタ國民ノ氣風ト云フモノハ、御上ノ御命令ノ如キ此勸誘ノ方法ヲ以テスレバ、或ハ政府ノ豫期シタ所ノ成績ガ舉ルカモ知レナイ、斯ウ云フ一方ニ財用ノ缺乏ハ如何ナル方法ニ依ッテ將來ノ財源ヲ得シカト苦心シテ居ル場合ニ於テ、茲ニ此新法ヲ開イテ、極端ニ此法令ヲ實行シ、此目的ニ向テ地方ノ國民一般ニ向テ勸誘ト云フモノヲ強制至ラザルナキ事ノ生ゼヌトモ限ラヌ、アナタ方ノ如キ賢明ナ内閣ガ百年モ續イタナラバサウ云フコトハナイカモ知レヌケレドモ、ドンナ内閣ガ出來ルカモ知レナイ、此官憲ヲ惡用シ濫用シ、以テ自己ノ窮乏ヲ之ニ依ッテ免レントスルガ如キ不心得ナル政府者モ、時ニハ出ナイトハ限ラヌデアル、苟モ立法スル場合ニハ、此邊ノコトハ十分考慮シテ置カケレバナラスデアル、斯ウ云フ危險ガ一方ニ伴ッテ居ルニ、此集メタ金ハ如何ナル具體ノ方法ニ依ッテ運用スルノデアル、是ハ斯ウ斯ウニシテ此效果ヲ完ウスルノデアルト云フコトハ、苟モ本案ヲ立法スル場合ニ於テハ政府當局ガ十分ノ考慮ト研究ヲ盡シテ極メテ置カケレバナラス、立法スル場合ニサウ云フコトハ十年後ニ考ヘテモ宜カラウト云フヤウナ漠然タルコトデ、苟モ此今日民間ニモ大分疑問ヲ以テ迎ヘラレテ居ル所ノ本案ノ如キモノヲ行フニ方ッテハ、十二分ノ國民ニ安心ヲ與ヘテ置クト云フコトハ當局者ノ責任デアルト考ヘル、此點ハ先刻御尋ネ致シタル點ト共ニ、即チ政府ノ政策ヲ遂行スル上ニ於テ立テラレタル案デアル以上ニハ、首尾一貫シタル完全ナル御説明ガナケレバ、吾々ハ政府ノ政策ハ唯思ヒ付キデアッテ、單ニ社會政策ノ名ヲ藉リテ以テ一時ヲ瞞化スルモノデアルト云フコトノ非難ヲサレマシテモ、政府ハ辯明ノ言葉ニ窮スルヤウニナルデアラウト憂フル譯デアル、此點ハ少クモ政府ガ今回御提案ニナツタモノノ中デハ政策ノ説明ト見ルベキモノガ甚ダ少イデアル、官營製鐵所ノ擴張案、或

ハ日支銀行、若クハ滿洲銀行、或ハ保險官營法案ノ如キモノハ、少クモ現政府ノ政策ノ實現ト吾々ハ見ルノデアリマスカラ、此重大ナル時期ニ於テ特ニ斯ノ如キ政策ヲ提ゲテ起シタルコトヲ多スト共ニ、之ニ對シテハ關係ノ話デハ満足出來ナイ、政治家的ノ見地ニ於テ此問題ガ深ク將來ノ永久ニ互ニ如何ナル效果害惡ヲ及ボスカト云フコトヲ十二分ニ政府當局大臣ノ御答ヲ聽イテ、而シテ贊否ヲ表シタイト思フノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ一應明確ナル御答ヲ得タイ

○逕信大臣(箕浦勝人君) 社會政策ト申スコトハドウ云フ定義デアリマスカラ、イロイロ學者間ニモ議論ガアルヤウデゴザイマスガ、併ナガラ政府ハ社會政策ト云フヤウナ左様ナ名ニ拘ツタ譯デハナイノデアリマス、是ハ此法案ノ目的トスルコトヲ實行スレバ、自カラ世間デ言フ社會政策ト云フモノニ當ルト云フコトハアリマシテモ、唯ダ名目ニ拘泥ラスルト云フコトハ一ツモナイノデアリマス、ツマリ貧富ノ懸隔ニ伴フテ起ルトコロノ各般ノ缺陷ヲ救済シテ、社會ノ健全ナル發達ヲ助ケルト云フ爲ニハ、イロ／＼ナ方法ガアルデアリマセウ、即チ其中ノ一ノ方法トシテ、比較的低廉ナ料金ヲ以テ又簡易ナ方法ニ依ッテ、安全ナル基礎ノ上ニ多數ノ下級社會ノ人民ニ保險ノ恩澤ヲ及ボスト云フコトガ、即チ方法ノ一ツデアルト考ヘルノデアリマス、デ其事ガ稱シテ社會政策ニ叶フト云フ人モアリ、ツレハ社會政策ト云フモノニナラヌト云フ人モアルデアリマセウガ、左様ナ名目ニ必ズシモ拘ハル譯デハナイノデアリマス、例ハ労働保險ト申スヤウナ、或一定ノ種類ノ人ヲ限ッテ強制ノニ之ヲ及ボス國庫ガ多大ノ之ニ補助ヲ與ヘルト云フヤウナモノデアリマスルト、通例世間デ申シテ居ル社會政策ト云フ意味ニ叶フト云フコトハ餘リ異論ガナイヤウデアリマス、其他ノコトニ付テハ人ノ見方ニ付テ違フデアリマセウガ、其名ニ拘ツタコトデハナイノデアリマス、今日ノコトコロハ先達モ申ス通り普通保險ト云フモノハ、年々保險金額ガ高マルノデアリマス、是ハ高マルベキ道理デアル、普通ノ保險デアリマスルト、勸誘員ヲ派シテ頻リニ勸誘ヲ致シテ、ツレニ付テハ金高ガ大キクテモ小サクテモ一口ハ一口デ、同ジ手數ガ掛ルノデアリマスカラ、成ベク金高ノ多イ方ガ利益デアル故ニ、ドウシテモ其方法ニ出ル傾ガル、社會ノ民度ガ段々ト進シテ參リマシレバ、多額ノ保險金ヲ拂フト云フ餘力モ生ジテ來ルシ、又ドウモ少額デハ満足シナイト云フコトニ段々ナッテ參リマシレバ、自然ノ趨勢トシテ自然保險金額ガ高マル、其統計ハ先達チヨット御話ヲ致シテ置キマシヤウナ次第デ、尙ホ其詳シイコトハ申上ゲマスガ、サウ云フ譯デアリマシテ、ドウシテモ今日ノ趨勢ニ依リマス、多數ノ下級社會ハ保險ノ恩澤ニ浴スル機會カラ遠ザカルト云フコトニ段々ナッテ參リマシレバ、是ハドウシテモ一ツ此缺陷ヲ救ハヌケレバナラス、トコロガ小口ノ少サナ口ノ保險ト普通ノ保險トハマルデ是ハ仕組ハ違ハヌケレバナラス、普通ノ保險ノ仕組ヲ以テ小口ノモノモマデモ掬フト云フコトハ到底出來ナイ、甚ダ不經濟ニナルノデ、サウ云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、小口ハ小口ノ普通ノ普通通シテ、二様ノ方法ニ依ッテヤラシケレバナラスノデアリマス、強イテ普通ノ保險ノ方法ヲ以テ小サイ金額ヲ掬ハツトシマシレバ、必ズ營業上ニ非常ノ困難ヲ生ジテ來ルノデアリマス、故ニドウシテモ是ハ別ナ方法ヲ以テヤラシケレバナラスト云フコトハ論ヲ俟タヌコト、思フ、故ニ其小口ノ保險ヲシテ多數ノ下級民ニ其恩澤ヲ及ボス、即チ其普通保險ノ及バザルトコロヲ補フ爲メニ、別ノ小口ノ扱ラスルノニ適當ノ方法ヲ用ヒルト云フノガ此簡易保險ノ趣意デアリマス、

而シテツレヲ經營スルノニ民間ノ自由競争ニ委セルガ宜シイカ、政府ノ官營ニ獨占スルガ宜シイカト云フコトニ付テハ、先達モ申シテ置キマシタコトデ、略ホ御承知ノコト、考ヘルノデアリマシテ、其目的ノ實效ヲ奏スルノ上ニハ、必ズ下級ノ所謂社會上ノ缺陷ヲ補フコトガ出來ルコト、信ジテ居リマス、果シテ其事ガ社會政策ト云フ名ガ付キマスカ、付キマセヌカ、サウ云フヤウナ點ハ一向ドチラデモ宜シイト考ヘルノデアリマス、ツレハ決シテ名目ニ拘ツテ彼レ是レノコトハ考ヘテ居リマセヌ、ツマリ其目的ヲ實ケバ實效ヲ奏スルニ足レリ、サウ云フヤウナ考デゴザイマス、ツレカラ資金ノ運轉——所謂準備金ト云フヤウナ資金ノ運用法ニ付テハ、是ハ無論一般ノ財政上ノ補フスルコトニハ使ハヌ積リデアリマス、又先刻吉植君カラチヨット言ハレマシタ金ヲ集メマスカトガ目的ニ叶フヤウナ御話ガアリマシタガ、左様デハナク今ノ保險ノ恩澤ヲ多數ノ下級民ニマデモ及ボシテ、其幸福ヲ増進スルト云フコトガ目的デアリマスノデ、必ズシモ金ヲ澤山集メルト云フコトガ目的デハナイ、目的デアリマス、ツレデ集メタ金ト云フモノヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、チヨット遲ク參ッテ他ノ政府委員カラ說明ヲ致シタコトヲ聞キマセヌデシタガ、多分其事ニ付テハ御話ヲシタコト、考ヘマスガ、所謂社會政策的ノ或ハ産業組合トカ、或ハ又イロ／＼ノ労働者ニ對シテ家屋ヲ供給スルカ種々アルノデアリマス、ツレ等ノコトニ使フト云フモノヲ起サヌケレバナラス、是ハモウ議會ニ提出スルコトニナッテ居リマス、其特別會計ニ依リマシテ其運用ノ仕方ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトニ致シテ居リマスノデ、勅令ヲ以テ明カニ定メルコトニ致シテ居リマス、サウ今日カラ先ノコトヲ考ヘテ、斯ウ／＼云フ方法ニ使フト云フコトマデ定メテ置カケレバナラスト云フ御話デアリマスガ、併ナガラマデ今日デハサウ具體的ノ案ヲ持ッテ居リマセヌ、併ナガラ大體ニ於テ其目的ヲ變ヘルコトハナイノデアリマシテ、必ズ一般ノ財政上ノ補フ爲メト云フコトニハ用井ナイ、ツレデ必ズ社會政策的ノ方法ニ用井ルト云フコトニ大體ハ極ッテ居リマス、其以上ハ是ハ其時ノ國ノ事情ニ依ッテ違ッテ居リマセウガ、何レ又始メマシタコトコロガ、初メカラ斯ウ云フ運轉ヲシテイロ／＼仕事ヲスルト云フ場合ニハ至ルモノデアリマス、追々ニ講究ヲシテ誤リナイ適當ナル方法ヲ立デタイト云フ考デアリマス、大體ニ於キマシテハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルノデアリマスカラ、相當ナル方法ト云フノハ其時ニ於テ出來ルノデ、今日ハマダ其方法ト云フモノハ定メテ居リマセヌ

○吉植庄一郎君 唯今ノ御答辯ニ依ッテ見マス、社會政策云々ノコトデアリマスガ、政府ノ說明書、當局大臣ノ說明ニ社會政策ノ實行云々ト云フコトヲ申立デニナッテ、此本案ヲ遂行スルニ付テハ必要ノ理由ノヤウニ御説キ立デニナリマシタカラ、ツレニ付テハ政府ハ社會政策ト云フコトニ付テハ如何ナル見解ヲ持ッテ居ラレカ、是ハ即チ政府ノ社會政策ノ一端ト見ルノデアリマスカラ、政府ハ社會政策ト云フコトヲ如何ニ解釋シテ居ラレカ、是ガ分ラナケレバ政府ハ社會政策云々ト公稱セラレテ此案ヲ出サレタコトガ無意味ニナッテ來ルノデアル、是ハ政府ハ別ニ社會政策云々ト云フコトハ見様ニ依ッテハサウデモ宜シ、サウデナクテモ宜シイト云フヤウナ、極メテ輕微ナ意味ニ於テアルノデゴザイマスルナラバ、此說明書或ハ議會ニ於ケル御答辯ニ於テモ、特ニ社會政策ヲ行フタメニ此

案ヲ重要ナリトスルコト云フ理由ハナクナッテシマウニ思ヒマスカラ、ソレヲ當局大臣ハ此
社會政策ト云フコトニ付テ極ツタ見解ガナケレバ、社會政策ノ一端ニ出ル譯ガナイ、イロ
イロ學者ノ説モアリ、イロ／＼ナ議論ガアルカラ、ドチラモ宜イト云フヤウナコトデア
ルナラバ、吾々ハ何ノ意味ヲ御出シニナッテアルカト云フコトヲ了解スルニ苦シムカラ御尋
シタノデアリマス、是ハ次ノ機會ニテモ、モウ一遍當局大臣カラハッキリ聞イテ置キタイト思
フデアリマス、ソレカラ第二點ハ金ノ問題デアリマス、運用ノコトデアリマス、若シ果シテ
今大臣ノ仰セラル、如ク此金ハ斷ジテ國庫ノ運用ノ用ニ使ハヌト云フ御決心デア
ルナラバ、法文ノ中ノ之ヲ明記スルモ妨ガナシト思フ、何故ナラバ是ハ疑問ヲ非常ニ持ツ問題
アル、斯ノ如キ問題ニ付テ杞憂スルト云フハ、是ハ杞憂ハナシ、過去ニ於ケル實例ハ
郵便貯金ノ如キモ、國庫ノ運用ノ目的ニ供スルタメニ郵便貯金ヲ獎勵シタト云フコト
ハ、政府ノ聲名ニハ一回モナイケレドモ、是ハ常ニ國庫ノ運用ノ目的ニ供セラレテ居
ルデアル、事實サウデアアル、過去ヲ以テ見レバ將來ヲ推サナケレバナラヌ、殊ニ日本ノ財政
ノ現在ノ狀態及近キ將來ニ考ヘマスレバ、此憂ハ最も多イデアアル、斯ウ云フコトニナ
テ居リマスカラ、若シ此美名ノ下ニ金ハ集メルケレドモ、其結果ハ却テ其資本ノ大部分ハ
國庫ニ運用セララル形ニナッテシマウト、郵便貯金ノ一ノ舞スルコトニナルデアリマス
カラ、是ハ餘程考慮シナケレバナラヌデアアル、政府ハ果シテ其點ニ付テ是ハ全然國庫ノ
運用ニハ供シナシト云フ御決心デアラナラバ、此内閣ノ次ニ來ルベキ、又其次ニ來ルベ
キモノニモ、此方針ヲ遂行セシメテコソ、現内閣ノ主張ヲ貫徹スル所以デア
ルカラ、其趣意
ノ通り法文ノ上ニ明白ニ書イテ、之ニ依ッテ集マル金ハ一厘一毛タリトモ國庫ノ運用
ノ上ニ使フモノデハナシト云フ原則ヲ御極メニナッテ宜カラウト思フ、ソレマデノ御決心
ガアルヤ否ヤ、ソレヲ伺ヒタイ

○逓信大臣(箕浦勝人君) 社會政策ト云フヤウナコトデアリマスガ、左様ナ説明ハ致
シタコトハナイヤウデアリマス、社會政策ヲドウ斯ウト云フコトハ申シテ居リマセヌ、前ニ申
シマシタ通り其事ハ所謂社會政策ノ一端ニ當ルト思ヒマスルガ、併ナガラソレハサウ云フ名
ニ拘ッテコトデアナイデアリマシテ、所謂多數ノ下層ノ人ヲシテ各、其恆ノ產ヲ治メテ秩
序アル生活狀態ヲ保タシメル、デ貧富ノ懸隔ニ伴ウテ起ル所ノ缺陷ヲ救済シテ、社會組
織ノ健全ナル發達ヲ計ルコトノ一ノ方法トシテ斯ウヤツデアリマス、此目的ガ實行セラ
レ、バ、ソレ等ノ目的ニ適フコトデアリマスカラ、ソレヲ眺メテ其事ガ社會政策ニ當ルト
見ル見方モアリマセウシ、又ソレデハ社會政策ニナラヌト云フ見方モアリマセウケレドモ、
左様ナコトハ一向頓著シナイデアリマス、ドチラモ宜イ、名ニハ何等ノ價ヲ持ッテ居
ヌト御承知下サルコトニ願ヒマス、ソレカラ今ノ金ノ運用ノコトデアリマスガ、是ハサウ窮
窟ナコトヲ法律ニ書イテ置ク必要ヲ認メナイデアアル、決心トカ何トカ云フコトデナシニ、
必要ガナシト思フデアリマス、併ナガラ此處デ説明シテ置キマスレバ、立法ノ精神ト云
フモノハ此處デ御協議ヲ致シテ居リマス此間ニ現ハレテ居ル、其間ニ立法ノ精神ト云フ
モノハ明カニナッテ居リマスカラ、ソレガ非常ニ力ヲ持ツモノデアアル、餘リ法律文ニイロ／＼
ク／＼シイコトヲ書クト云フコトハ、却テ弊害ヲ醸スコトデアリマスカラ、書カヌ方ガ却
テ宜カラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ必ズシモ法律ノ文面ノ中ニ左様ナコトヲ書イテ
置ク必要ヲ認メナイ、又先刻吉植君ノ御話ニ、政府ガ官權ヲ濫用シテ募集ヲスルトカ云

フヤウナ御話モアリマシタシ、又是ニ付テモ總テノ事ニ付テ一ツ御注意ヲ願ッテ置キタイノ
ハ、申スマデモナク今日ハ憲法政治ノ行ハレテ居ル時デアリマスカラ、昔ノ專制政治ト
違ッテ、政府ガ何モ角モ勝手ニスルト云フコトハ出來ルモノデモナシ、法律ノコトハ勿論デア
リマスガ、サウデナクシテ行政上ノ事ト雖モ餘リ間違ッタコトヲスレバ大ニ輿論ノ攻撃ヲ受
ケルデアアル、輿論ヲ以テ之ヲ責メルト云フノデ、大ニ國民ノ意思ト云フモノガ行政上ニ
於テモ效力ヲ持ツ時代ニナッテ來テ居リマスカラ、餘リ非常識ナコトノ行ハレベキ道理ハ
ナイデアリマス、ソレハ左様ナコトヲ一々細カニ法律ナドニ書キ上ケルト云フ必要ハナイ
ト思フデアリマス、故ニソレ等ノ事ニ付テハ、ヤハリ此後ニ提出致シマス所ノ特別會計
ニ掲ゲテ居ル勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトデ、其勅令ノ定メ方ニ付テハイロ／＼今ノ
立法ノ精神ニ依ッテ……今説明致シマシタ立法ノ精神ニ依ッテ定メルトデアリマス
カラ、法律ノ明文ニソレヲ掲ゲテ置ク必要ハ認メテ居ラヌト云フコトデカラ御話シテ置キマス
○委員長(小河源一君) 政府委員ニ淺野君カラ豫定保險料ノ表ガ出來ルナラバ欲
シイト云フ請求ガアリマシタ、ソレハ年齡別ニシテ、サウシテ終身保險ト養老保險ト兩方
ノ保險料ヲ明瞭ニナルヤウニ求メタイト云フコトデアリマスカラ、成ルベク早く表ヲ御調製
下サルコトヲ願ヒマス——今日午後二時カラ開會スルコトニ致シマシテ、是デ休憩致シ
マス

午後零時二十分休憩

(休憩後開會ニ至ラスシテ散會)

大正五年二月十三日印刷

大正五年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局